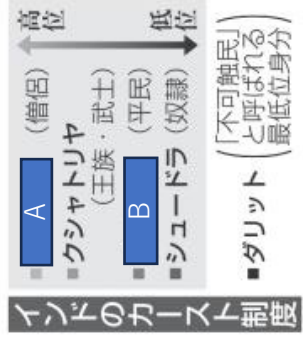


カースト最低位女性の新聞社



カースト制度 出身によって決められるインドの伝統的な身分制度。上位から **A** (僧侶)、クシャトリア (王族・武士)、**B** (平民)、シエドラ (奴隷) の四つに大きく分類される。さらに職業などで細分化されその下には「不可触民」と呼ばれる最下層身分のダリットがいる。職業を世襲し、他のカーストとの結婚や食事を共にすることを認めない。インドの憲法ではカーストによる差別を禁止しているが、今も社会に根強く残る。(バンダ共同)



インドのカースト制度

インド各地で投票が続く総選挙は、根強い格差や差別など社会的課題の解決も重要な争点だ。身分制度「カースト」で最低位に置かれる女性たちが2002年に結成した新聞社「カバル・ラハリヤー」は、大手メディア

が取り上げない農村に密着。立場の弱い人々にスポットを当て、独自の選挙報道を展開している。「開発の名の下にこの村でも農民が土地売却を余儀なくされている」。北部ウッタルプラデシュ州都ラノイーから車で約9時間。地方都市バンダを拠点としているキャリア15年の記者ギーターさん(27)は、郊外の村からの現場リポートでこの視聴者に訴えかけた。

この日の取材テーマは高速道路整備に伴う農家の立ち退き問題。モディ政権は

インド 農村に密着、弱者の声届ける

モディ政権へ恐怖感も、独自の選挙報道

④ギーターさんもバンダ近郊の農村部の生まれだ。村

に中学校までしかなく、女性は10代半ばで結婚して家庭に入るのが当たり前だと考えられていた。高等教育を受ける金銭的余裕はなく、自身も15歳で結婚せざるを得なかった。

夫の家族との同居はトラブル続き。インドでは婚姻の際に妻の家族が夫側に金品を買取慣習がある。額が少ないことを理由にした暴力は根深い問題で、ギーターさんも被害者だった。3人目の息子を産んで数カ月

発足10年で高速道路網を倍増させたと誇る。都市をつなぐ道路が充実すれば多くの人々が恩恵を受ける半面、通り道になる村の人々の生活設計は大きく狂う。「土地は何度も豊を生むが、立ち退きでもらえるお金は一度きり。水利の良い土地が再び手に入るか分からない」。ある農家の高齢男性は、ギーターさんに不満をぶつけた。「モディ首相は国際戦略や外交といった大きな話には優れているかもしれないが、農民は苦しんでいる」



農家の男性を取材するギーターさん(左手前)11月15日インド北部ウッタルプラデシュ州(共同)

後、子どもを連れて家を出た。農村の人々の苦しみは誰よりも分かる。

入社したカバル・ラハリヤーは女性記者ら約40人を擁する。以前は新聞を発行していたが今は主に動画を発信。偏見や差別にひるまず報道する姿勢は「燃えあがる女性記者たち」と題して映画化され、昨年日本でも公開された。

農村の声を広く伝えるのが使命だと考えているが、このところ気になるのは政権批判を怖がる農村の人々の増加だ。ギーターさんが立ち退き問題の取材を進めていると、ある男性がこぼした。「モディ首相の文句を言っていることがばれたら後でひどい目に遭うかも」。野党を抑え付け、少数派のイスラム教徒に厳しい政策を断行する強権的なモディ政権への恐怖感は農村部にまで静かに波及している。(バンダ共同)

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄A Bに入るカースト制度の階級名を書きましょう。

2 モディ政権の高速道路倍増によって、農村ではどんな問題が起きましたか。本文中から10字以内で抜き出しましょう。

3 インドは2025年にGDP(国内総生産)で日本を抜くと言われています。日本を抜いて、世界第何位になりますか。また、現在世界3位はどの国ですか書きましょう。

A

B

位 国名

NIEワークシートのこたえ（2024年5月14日公開）

◆ワークシート「カースト最低位女性の新聞社 (社会 SDGs10)」

2024.5.8付 朝刊 国際総合 4面 解答

1 A バラモン B バイシヤ

2 農家の立ち退き問題

3 4位 ドイツ